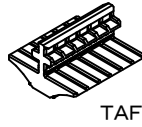


このマニュアルは基本的な注意事項をまとめたものです。現場の状況等によって条件等が変わる可能性があります。ご不明の点があれば、お問い合わせ下さい。

1 ハンディアスリートの種類

【ハンディアスリートについて】

ハンディアスリートとは「トータルデッキシステム」+「TAF」による相持ち構造による耐荷重・耐衝撃性能向上を実現したシステムで荷重条件や支持ピッチの条件に合わせ選択可能。



TAF

【荷重条件と支持ピッチ】

単位(mm)

	品番	短期最大集中荷重	長期最大分散荷重	衝撃荷重 30kg砂袋	根太 ピッチ	大引 ピッチ	束 ピッチ
シングル 工法	HAD-300-S	300 kg	500 kg/m ²	90 cm	@400	-	@1200
	HAD-200-S	200 kg	400 kg/m ²	90 cm	@500		
	HD-150-S (従来工法)	150 kg	350 kg/m ²	50 cm	@400		
クロス 工法	HAD-300-C	300 kg	500 kg/m ²	90 cm	@400	@1200	@800
	HAD-200-C	200 kg	400 kg/m ²	90 cm	@500		
	HD-150-C (従来工法)	150 kg	350 kg/m ²	50 cm	@400		

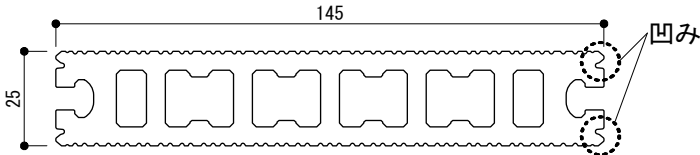
※上記のデッキ許容荷重は全て弊社商品を用いた場合のみとします。

2 設計・施工上の注意事項

【注意事項】

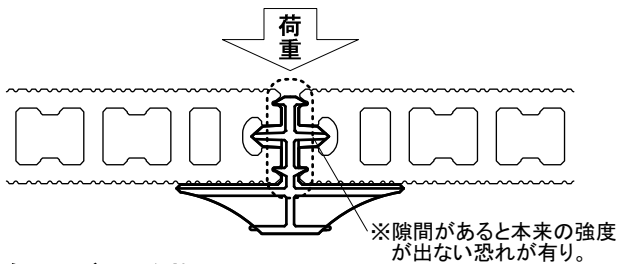
・対応するデッキ材は145開(側面に凹み有り)。

デッキ側面に凹みが無いとTAF材との勘合が不可。



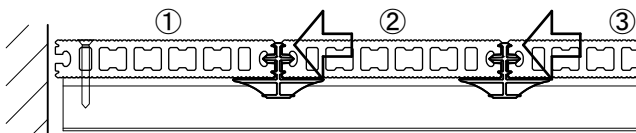
・デッキ材とTAF材の固定は隙間が無いように施工して下さい。

デッキの面構造を一体化させ、連結部品「TAF」材の使用により、従来工法に比べ、強度UP。



・片追いでデッキを施工をする事。

挿み入れによる施工は不可。部分交換をする際は別紙参照。



・目地材

弊社商品「ワイドQCS目地材N」のご使用方法はお問合せ下さい。

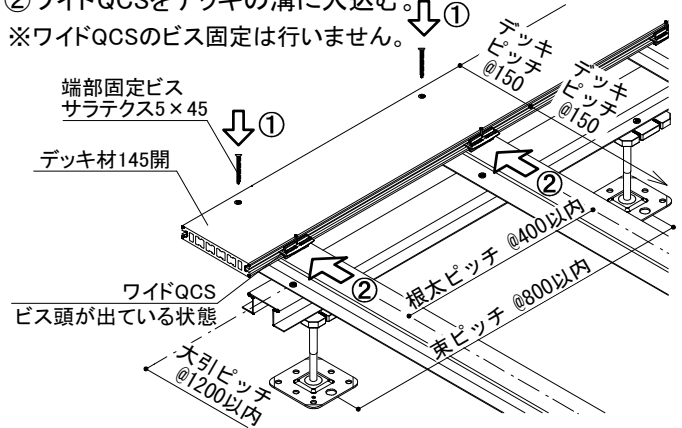
3 施工手順

【端部デッキ材の施工】

①端部デッキを敷設後、端部固定ビスにて固定。

②ワイドQCSをデッキの溝に入込む。

※ワイドQCSのビス固定は行いません。

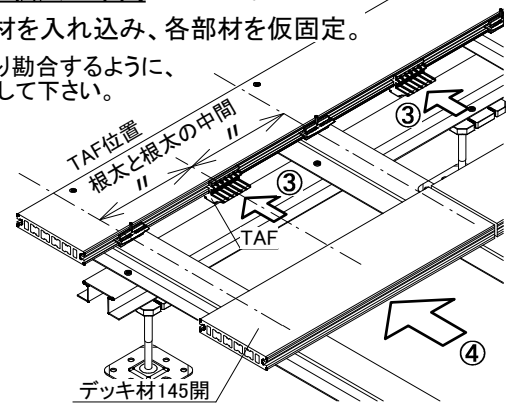


【TAF取付】

③TAFを根太と根太の中間に差込む。

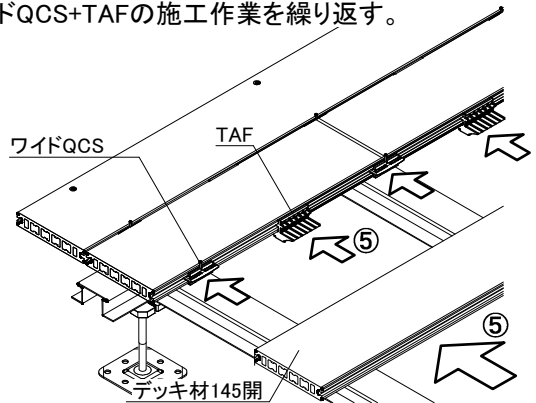
④次のデッキ材を入れ込み、各部材を仮固定。

※TAFがしっかり勘合するように、デッキ材を押しして下さい。



【上記作業の繰り返し】

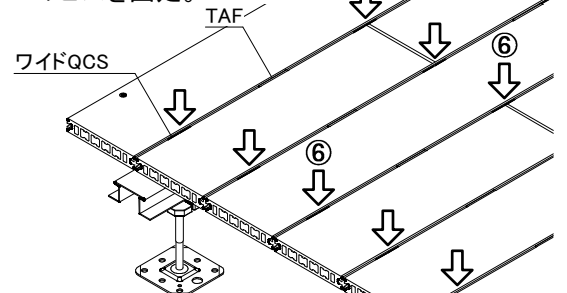
⑤デッキ+ワイドQCS+TAFの施工作業を繰り返す。



【本締め】

⑥デッキ3~5枚ごと寸法等を確認し、

ワイドQCSのビスを固定。



※デッキ目地が5mm以上になっていないかを確認して下さい。

■このマニュアルは2017年1月に作成されたものであり 予告なく変更する場合があります。尚、本施工マニュアルは施工に際しての設計基準であり、性能を保証するものではありません。